

一般財団法人 GovTech 東京
令和6年度第5回理事会議事録

- 1 開催日時 令和6年11月1日(金) 13時00分から13時45分まで
2 開催方法 一般財団法人 GovTech 東京会議室 及び オンライン
3 出席役員名 宮坂学理事長、高野克己副理事長、井原正博業務執行理事、
畑中洋亮業務執行理事、浅場理早子理事(※)、
米田恵美理事(※)、葉山良子監事(※)
(※)はweb会議システム Microsoft Teams による出席

4 議決事項

- 第1号議案 理事候補者の推薦について
第2号議案 評議員会の招集について

5 報告事項

- 報告第1号 一般財団法人 GovTech 東京定款の一部変更
報告第2号 理事の職務執行状況(2024年4月から同年9月まで)

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数、議長及び議事録署名

開催に先立ち、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることが確認した。定足数を確認し、開会を有効と認めた後、定款39条及び理事会規程第6条に基づき理事長を議長とすること、また、定款第43条及び理事会規程第11条第3項に基づき議事録の署名は出席している理事長と監事が行うことを確認し、議題に入った。

(2) 第1号議案 理事候補者の推薦について

ア 説明及び質疑

(第1号議案について、事務局が資料に基づいて説明を行った。)

(説明の後、議長が質疑を求めたところ発言はなかった。)

イ 決議

議長が採決を求めたところ、全員一致で原案どおり可決された。

(3) 第2号議案 評議員会の招集について

ア 説明及び質疑

(第2号議案について、事務局が資料に基づいて説明を行った。)

(説明の後、議長が質疑を求めたところ発言はなかった。)

イ 決議

議長が採決を求めたところ、全員一致で原案どおり可決された。

(4) 報告第1号 一般財団法人 GovTech 東京定款の一部変更について

(報告第1号について、事務局が資料に基づいて説明を行った。)

(説明の後、議長が質疑を求めたところ特段の意見や質問はなかった。)

(5) 報告第2号 理事の職務執行状況 (2024年4月から同年9月まで)

(報告第2号、2024年4月から同年9月までの期間における理事長、副理事長、井原業務執行理事及び畑中業務執行理事の職務執行状況について、資料に沿って事務局及び理事から説明を行った。)

(説明の後、議長が質疑を求めたところ、以下の発言があった。)

(発言要旨)

資料がわかりやすくなった。ダッシュボードについても、非常にわかりやすくて良かったが、一般企業の場合、予算に対する実績、半期での達成率の記載があり、今後、半期でどの程度の達成着地見込みになるのかといった達成率などの指標があるとなお良い。計測の体制が整いつつあるように見受けられ、どこの部門も定量で記載があるのがわかりやすくて良かった。継続していただきたい。

GTT パートナーズのマッチングについては課題感を感じる。受入側と応募側のミスマッチを防ぐため、業務を具体的に分解し、どの部分だったら週一の勤務等でも対応できるかといったコンサル的な役割を担うことでより成果が出やすくマッチングも高まるのではと思った。

区市町村とも民間事業者ともしっかり連携して推進力を高めているところが素晴らしい。資料もわかりやすく数字が増え、フレームもきれいになり、中期経営計画を踏まえてアウトカム測定も進化していこうと感じた。その上で、目標に対する実績数値が見えるとよい。新規事業なので数値にとらわれすぎるのは良くないが、可能な範囲で目標に対する結果や目標に対する評価含めて見ていけると良い。施策それぞれに対しても、現場レベルで目標設定ができると良いプロセスになる。たとえば、イベントでは今は満足度や参加者の数値を取っていると思うが、ステップ1としてはそれでよいが、ステップ2として得たい成果、どういうことを狙ってこのイベントを開いたのかを踏まえて、どういう測定をしていかなければならないか、測定のレベル感も上げていけると良い。それは経営者が決めるというより、職員が議論しながら進められる風景が生まれると良い。

GTT パートナーズのデジタル人材については、自治体がニーズを明確にしきれないのは、恐らく民間企業でも同じようなことが起きていて、デジタル人材が欲しいが、では

いったい何をするか、というところは決まっていない。そのあたりの解像度を上げていくことに尽力されていると思うが、そのプロセス自体がノウハウ、知的財産になると思うので、可能であればオープンにしていくと他の自治体にも参考になっていくと思う。理事会としては、気づきや課題、悩み等を共有いただけると議論が進めていけるので、今後もお願いしたい。

当初目標よりも大幅に進捗が遅れている事業はあまりない、予定どおり進んでいるという理解で良いか、確認したい。

全体として見ると大幅な進捗の遅れはない。いただいたご意見を参考にし、今後しっかりと検討させていただく。

GTT パートナーズのマッチングについては、低いとは考えておらず、上期に4自治体の任用実績を作ることができた。実績人数を拡大する前に、まずは成功事例を1件しっかり生み出していくことを優先しており、それを踏まえると良い結果だったと思う。一方で、区市町村からの期待も大きいため実績を増やしていく必要があるし、デジタル人材の活用方法がわからないという声が自治体から多く上がっていることを踏まえ、デジタル人材の活用事例をもっと作っていくこと、特に都や GTT の案件でデジタル人材の活用事例を作っていくことが今後重要と認識している。

都や GTT でパートナーズをどう活用できるのかを実態に合わせて見せていくことが大事なので、活用方法や活用することのメリットが見えると自治体の理解度も進んで、もう少しマッチングが進むと思っている。ただマッチングをするだけでは意味がなく、成功事例というものを一つずつでも着実に積み上げていくことが近道になると認識しているのでそのように進めたい。

本理事会は Web 会議システムについても終始中断等の審議の支障となる異状はなく、すべての審議を終えたため、議長は 13 時 45 分閉会を宣した。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため記名押印する。

議長（理事長） 宮坂 学

議事録署名人 葉山 良子